2026年10月21日

2026年7－9月期の小売売上高は14.5%増

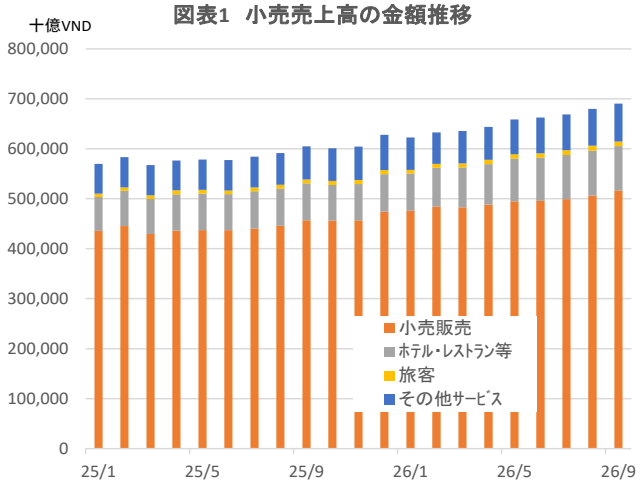
New-S Wealth Management

《2026年7－9月期の小売売上高は前年同期比14.5%増》

ベトナムの2026年7－9月期の小売売上高（推定値、以下同様）は前年同期比14.5%増の2,038兆VND（ベトナムドン）だった。2月末に勃発した米国とイランの武力衝突以降、ホルムズ海峡の閉鎖といった不透明感の強い経済環境だったにもかかわらず、14四半期連続で前四半期を上回り、12四半期連続で四半期ベースの過去最高水準を更新している。小売売上高の中核である小売販売は同13.4%増の1,522兆VNDとなった。ハイテク製品を中心に輸出の好調が続き、1－9月累計の鉱工業生産指数が同12.3%となるなど生産活動も良好な状態が続いている。月次でみても8月が同13.5%増、9月が同16.7%増と足元で加速する動きがみられ、このことが先行きの所得や雇用の見込みを楽観的にし、良好な消費環境に大きく貢献しているとみられる。海外からの直接投資（FDI）の拡大が見込めること、政府主導のインフラ投資が拡大していること、金利水準が抑制的であることなども楽観的な消費のサポート要因になっているようだ。輸出に牽引された生産の拡大が、投資の拡大と雇用の改善に繋がり、それが消費水準を押し上げるという好循環が続いており、足元の生産や投資の統計に陰りはみられないことから小売売上高の拡大が今後も続く可能性は高いと考えられる。このほか、外国人旅行者数の増加によってホテル・レストラン等が同19.4%増の266兆VND、旅客が同25.7%増の28兆VNDとなっている。

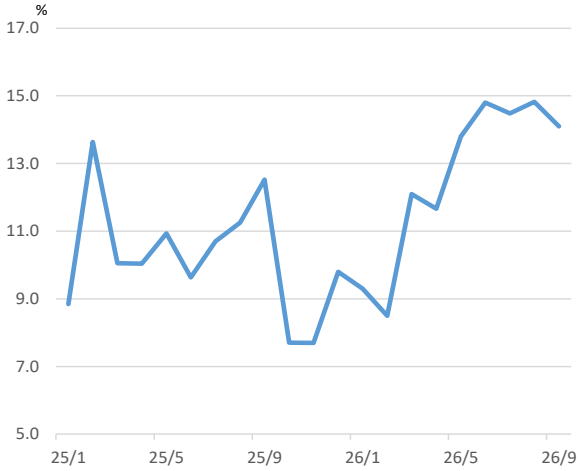
小売売上高の先行きには一点の曇りもない状況だが、リスクは二つあるとみている。一つは9月のS&Pグローバル社のPMIが新規受注や生産量の減少見込みによって前月比1.4ポイント低下の51.9となったことである。生産拡大ペースが減速すれば消費マインドに影響が出る可能性がある。もう一つは貸出金利の上昇傾向だ。企業部門の資金需要が強いため資金需給がひっ迫しており、貸出金利に強い上昇圧力がかかっているとみられる。9月の消費者物価指数も同5.1%上昇と、1－9月平均の4.5%を大きく上回り、場合によっては政策金利（リファイナンスレート、年4.50%）の上昇の可能性もある。金利上昇が消費にマイナスの影響をもたらす可能性がある点には注意が必要だろう。

図表1　小売売上高の金額推移



注　統計総局の発表した推定値をもとにしている
出所　ベトナム統計総局のデータをもとに当社作成

図表2　小売売上高の前年同月比増減率推移



注　統計総局の発表した推定値をもとにしている
出所　ベトナム統計総局のデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会
主な事業　金融商品取引業

有効期限作成日より180日　News20261021

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。